

2019 年は現地参加

- 参加費：EITM 奨学金
- 中国籍はビザ申請が必要
- 参加セッション：Session 1 and Session 2
- First Session: *Bayesian Modeling for the Social Sciences I: Introduction and Application; Machine Learning: Applications in Social Science Research; Mathematics for Social Scientists, III*
- Second Session: *Empirical Modeling of Social Science Theory: Advanced Topics; Bayesian Modeling for the Social Sciences II: Advanced Topics; Introductory/Review Lectures on Matrix Algebra*

2021 年はオンライン参加

- 講義は日本時間の深夜（オンデマンド配信あり）
- 参加セッション：Session 1 and Session 2
- First Session: *Measurement, Scaling, and Dimensional Analysis; Network Analysis I: Introduction*
- Second Session: *Game Theory; Network Analysis: Advanced Topics*

現地参加の住居

- Inter-Cooperative Council (ICC) の Gregory House
- 家賃は 2 ヶ月 1,132 ドル
- 基本的な食材、果物は無料で提供
- エアコンなし、扇風機は自ら購入
- 夏の居住者は ICPSR 参加者が多い
- 当時の隣さんは現在の共同研究者となった



学級規模

- 授業によって違う
- 普通は 20 人ぐらい
- Machine Learning : 50 人以上
- Game Theory : 5 人ぐらい

授業のやり方

- 授業は毎日 2 時間であるが、予習と復習はそれ以上の時間がかかる。
- 課題の負担は授業によって異なるが、2 科目以上の課題をやるのはほとんど無理である。
- 講師や TA はいつでも熱心に助けてくれる。

どんな人が参加したのか？

- 博士課程の院生が大部分
- 大学教員、企業の研究者もいる
- 国際参加者：中国からの参加者が多い。アルジェリア、エジプト、アルゼンチンからの参加者もいる。
- 社会科学のいずれの学科からの参加者もいるが、政治学の人が多い。

Bayesian Modeling I のグループ写真



ソーシャルイベント

毎セッションの初日：Welcome Party

毎週水曜の朝：Coffee & Donuts

第1週と第3週土曜の午後：Picnic

日本関係者のランチ会

第2セッションが始まった時は、ミシガン大学の白糸裕輝先生、深澤ゆり様とランチ会をやりました。



- 初心者コースから上級コースまで様々な研究方法が学べる貴重なチャンス
- 世界各地の院生や研究者と出会えることも ICPSR サマープログラムの魅力
- アメリカの教育や生活を身をもって体験

参加者へのアドバイス

- 自分のレベルに合った授業を選ぶこと
- 参加する前にシラバスを閲覧すること
- 積極的にコミュニケーションすること